

PRP療法について

PRP療法は再生医療の一つです。自分自身の血液由来の多血小板血漿(Platelet-Rich Plasma)を用いた治療法で、PRPを子宮内に注入することで、PRPに含まれる様々な成長因子により子宮内膜の成長を促進させるために行っています。

■PRPの役割

PRPの主成分は血小板です。血小板は、血小板由来成長因子(PDGF)、血管内皮細胞増殖因子(VEGF)、上皮細胞成長因子(EGF)、線維芽細胞増殖因子(FGF)など様々な細胞成長因子を含んでいます。これらの細胞成長因子を子宮内に注入すれば子宮内膜の成長が促進され子宮内膜が厚くすることが期待できます。

子宮内膜が厚くなると妊娠がしやすくなります。

